

令和6年度 第3回県内学事視察

(徳島県立池田高等学校
/東みよし町立昼間小学校)

令和6年12月11日(水)



～徳島県立池田高等学校～

徳島県立池田高等学校(本校)は、全日制課程普通科・探究科、定時制課程が設置されています。さわやかな校風のもと「愛と感謝と笑顔で日本一を目指す」を合言葉に、学習・部活動・探究活動を三本柱として取り組み、日々充実した学校生活を送っています。地域・大学・企業等と連携した探究活動は全国からも注目され、その成果は生徒の成長のみならず地域との連携にも現れています。

昼間小学校は、東みよし町に位置し、阿讃山脈や吉野川などに囲まれたのどかな小学校であり、明るく人なつこい児童が元気に毎日を過ごしています。また、「自ら学び、心豊かにたくましく生きる子どもの育成」を教育目標に掲げ、ICTを駆使し、クラウド環境を活用した先鋭的な教育活動が日々行われています。



～東みよし町立昼間小学校～

視察内容(午前:池田高校)

学校概要説明

学校長より学業と部活動の両立を果たしている生徒が多いことや、地域や企業の人材を活用して様々なテーマの探究活動に学校をあげて取り組んでいることなど、池田高校ならではの教育活動を紹介いただきました。

授業視察

総合的な探究、哲学対話、国際交流研修などの授業の中で、主体的で対話的な生徒の様子を見学しました。



池田三好寮の視察

授業視察後に新寮の見学を行いました。生活する生徒目線の設備が整えられていました。



視察内容(午後:昼間小学校)

授業視察

午後より、昼間小学校を視察しました。一人一台端末で学ぶという表現ではなく、児童が文房具や教科書のように、端末を当たり前に活用しながら学んでいる姿が印象的でした。また、ICTの活用だけではなく、児童が主体的に学びに向かう場面が多く見られ、普段から受け身ではなく、能動的に学んでいることがよく伝わってきました。また、児童だけではなく、教員もクラウド環境内で通常業務を行っており、従前の紙でのやりとりと比較し、緻密に業務を進めたり、時短を行ったりすることができていると感じました。

